

# 音楽科 中学校第1学年カリキュラム

月	題材・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	<p><b>心を伝えあう歌い方を求めて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拍の流れにのって明るい声で歌おう。 「Forever」</li> <li>・自分が持っている歌声を見つけよう。 「My Voice!①」 「マイ バラード」</li> </ul>	<p>A(1) ア</p> <p>A(1) アウ</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入門期の学習では、発声に対する不安を取り除くことが必要であるため、自然に歌うことを大切にする。歌詞の内容を味わい、拍の流れにのって歌うことによって、自然な発声を身につけることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・拍の流れや部分2部の音の重なりを感じ取って表現できるようにする。</li> <li>・変声期について気付かせるとともに心理的な面についても配慮し、適切な声域と声量で歌わせる。</li> </ul>	<p>中学校2、3年上</p> <p>「曲の構成や曲想の変化を感じ取って歌おう」</p> <p>・夢の世界を</p> <p>「曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫しよう」</p> <p>・翼をください</p>	<p>■歌詞が明るく希望に満ちているので好んで歌うことができた。交互唱から簡単な部分2部唱となる曲の進行も歌いやすく取り組み易い。</p>
5	<p><b>旋律のまとまりと構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲のまとまりを感じ取って表現しよう。 「主人は冷たい土の中に」</li> <li>・ビンゴゲームで音符・休符・記号の名前を確認しましょう。 「確認しよう。覚えているかな？」</li> <li>・リズムをつくろう 「確認しよう Play Rhythm」</li> <li>・「主人は冷たい土の中に」の旋律のまとまり 「ここが分かれば Grade up!」</li> <li>・決まったリズムを使って旋律をつくろう! 「My Melody」</li> </ul>	<p>A(2) ア</p> <p>A(3) ア</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素、リズムや旋律などを知覚することが容易な曲で、旋律のまとまりを感じ取りながら歌ったり、演奏したりすることができる。</li> <li>・音域やリズムが扱いやすく、自然な発声法を身につけることができる。</li> <li>・音楽の構成を理解して表現を工夫することができる。</li> </ul>	<p>小学校第6学年</p> <p>「曲の気分を感じ取って歌おう」</p> <p>小学校第1学年～6学年</p> <p>「ハ長調の音階の視唱と音符休符記号」</p> <p>小学校第5、6学年</p> <p>「共通事項：リズム」</p> <p>小学校6年生</p> <p>「曲の気分を感じ取って歌おう」</p> <p>・自然な無理のない響きのある声</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変声期の声を発声法を会得することでスムーズな発声に導くこと。</li> <li>・自然な発声法の理解と習慣化を図る。</li> </ul>	<p>中学校2、3年下</p> <p>「曲のしくみを理解して表現を」</p> <p>・風の中の青春</p> <p>中学校第2、3学年上</p> <p>「言葉や音階などの特徴を生かして表現を工夫し旋律を創る」</p>	<p>■4分の4拍子ハ長調コードネームを学習することにも活用できる曲である。和声の学習では、I、IV Vの和音に加えてDmEmなどの和音も学習することができる。</p>
6	<p><b>ハーモニーの美しさ楽しさ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って合唱しよう。 「エーデルワイス」 「アルトリコーダー Lesson1」</li> </ul>	<p>A(1) ウ</p> <p>A(2) アイウ</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テクスチャー（音の重なり）の働きをもたらすハーモニーの美しさを感じ取りながら、基礎的な表現技能を身につけることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふしの重なり」から「旋律の重なり」「旋律の構成」言葉の変化に対応</li> <li>・言葉の表現が歌詞全体の表現につながるように。</li> </ul>	<p>中学校第2、3年上</p> <p>「曲の構成と音の重なり」</p> <p>中学校第2、3年下</p> <p>「曲の構成」</p> <p>中学校第2、3学年上</p> <p>「発声や言葉の特徴」</p>	
	<p><b>言葉と歌声との関わり</b></p>	<p>A(1) イウ</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特性と発声との関わりを理解しながら歌うことができる。</li> </ul>			<p>中学校2、3学年上</p> <p>「世界の諸民族の音楽」</p> <p>中学校2、3学年下</p> <p>「世界各地の楽器の演奏」</p>	

月	題材・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年での学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階名で歌ってハーモニーを楽しもう。</li> <li>「Michael, Row The Boat Ashore」</li> <li>・曲に合った声を探そう！</li> <li>「My Voice!②」</li> <li>・日本の民謡に親しみ、声や音楽の特徴を感じ取ろう</li> <li>「日本の民謡」</li> </ul>	B (1) ウ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の声の性質と歌い方の長所や短所等を見つけようとする態度を身につけることができる。</li> </ul>	小学校第1学年～第6学年 「ハ長調の階名視唱と音符休符記号」 「言葉の表現の工夫」			
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">混声合唱へのステップ</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・へ音譜表の理解とパートの役割</li> <li>・へ音譜表を読んで混声合唱を楽しもう。</li> <li>「パフ」</li> <li>・パートの役割や音の重なり方の特徴を感じ取って合唱しよう。</li> <li>「朝の風に」</li> </ul>	A (1) ウ 共通事項イ	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変声期について理解し、へ音譜表との関わりを理解することができる。</li> <li>・声部の重なり方の特徴を感じ取ることができ、低音部の学習ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・変声期の生徒への配慮や無理のない発声</li> <li>・主旋律と他の変声部の関係を理解させる。</li> <li>・声部の役割に応じた表現や全体の響きを意識して表現を工夫させる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■男声パートの表記について学習する曲である。階名唱をできるようにするために、+1時間で取り組んだ。</li> </ul>
8	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情景と音楽との関わり</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。</li> <li>映画「ジョーズ」からジョーズのテーマ</li> <li>・曲の構成に気をつけながら曲想の変化を感じとって聴こう。</li> <li>「春 第一楽章」</li> </ul>	B (1) アイ 共通事項ア	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の雰囲気や味わいを支えている音楽の諸要素を知覚することができる。</li> </ul>	小学校第4学年～ 小学校第6学年 ・フレーズについて小学校では曲のまとまりという表現で学習している。フレーズ感をもって構成を考えること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想を想起し絵や言葉でイメージ化する。</li> <li>・速度や強弱の働き、雰囲気や曲想の変化の感受と聴取</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■作曲家や時代についても触れながら、3年生で扱う音楽史につなげたい。</li> </ul>
9	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情景と音楽との関わり</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな音を見つけて情景を音楽で表そう。</li> <li>「Let's Create!」</li> </ul>	A (3) イ 共通事項アイ	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きを生かした創作をすることができる。</li> </ul>				

月	題材・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
10	<p>物語を歌で表現する芸術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詩の内容と曲想の変化を感じ取ろう。</li> </ul> <p>「魔王」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな声で歌ってみよう！</li> </ul> <p>詩と音楽との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詩や曲の雰囲気合った声で言葉を大切に歌おう。</li> <li>「赤とんぼ」</li> <li>フレーズを生かした表現を工夫しよう。</li> <li>「浜辺の歌」</li> </ul>	B(1)ア	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想の変化がもたらす音楽を形づくっている要素を知覚しながら味わって聴くことができる。</li> <li>自らの声で表現する。</li> </ul>	小学校5年生の「ふしの重なり」	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて指導</li> </ul>	中学校第2・3学年上下 「日本の心」 ・夏の思い出 ・荒城の月 ・花 ・花の街 ・早春賦	
	<p>「旋律の重なりの変化」をコードの変化やハーモニーの変化に加えて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って歌唱表現を工夫することができる。</li> </ul>	A(1)イ	3					
11	<p>日本の伝統音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統音楽に親しもう～箏と尺八～</li> <li>「六段の調」</li> <li>「巢鶴鈴慕」</li> <li>「さくらさくら」</li> <li>「箏を平調子に調弦して旋律をつくろう」</li> </ul>	B(1)ウ	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素の知覚を通して日本の伝統音楽の多様性を感じ取ることができる。</li> </ul>	「楽器の音色の特徴」	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統音楽の特徴を感じ取りながら。</li> </ul>	中学校第2, 3学年上 日本の伝統音楽に親しもう 「勸進帳」	
12	<p>アジアの音楽の魅力を探る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アジア各地の音楽に触れ音楽や音色の特徴を感じ取ろう。</li> <li>「アジアの諸民族の音楽」</li> </ul>	B(1)ウ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジアの音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って鑑賞することができる。</li> </ul>	小学校6年生 「世界の音楽に親しもう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特色や生まれた背景について</li> </ul>	中学校第2, 3学年上 「世界の諸民族の音楽」	
1	<p>混声合唱へのステップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲想を感じ取って速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。</li> <li>「カリブ夢の旅」</li> </ul>	A(1)アウ	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「ふしの重なり」から「旋律の重なり」言葉の違い、構成につながるようにする。</li> <li>歌詞の内容に関心を持たせ、雰囲気や情景のイメージ化につなげる。</li> </ul>	中学校第2, 3学年上 「曲の構成と音の重なり」 中学校2, 3学年下 「曲のしくみ」として学習が深められる。 「歌詞の内容や声部の役割を生かして表現」	■「ふるさと」は小学校でも扱っている曲であるため、無難に取り組める。学年に応じた編曲は扱いやすく無伴奏でも挑戦したい曲である
	「ふるさと」	A(4)ア	7					
	一学年のまとめ  中学校1学年		45					